

## 第2期貝塚市子ども・子育て支援事業計画 令和4年度の進捗状況

## I 親と子の健やかな成長を支援します

## 1. 親と子への切れ目のない健康支援

## 【1】妊娠・出産期から子育て期への切れ目のない支援

№	事業名	事業内容	令和4年度の取組と評価	令和5年度以降の方向性や課題	単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課		
1	母子健康手帳の交付	妊婦の届出をした者に対して、母子健康手帳を交付するとともに、妊娠から出産及び育児に関する情報提供をおこなって行います。また、保健師等が全ての妊婦と面接することで支援の必要な妊婦を早期に把握します。	母子健康手帳交付時に専門職(保健師、助産師)が面接を行い、安心して出産・子育てができるよう、妊婦の置かれた状況を把握し、利用できるサービスの情報提供を行った。また、外国籍の妊婦に対し、必要に応じて母国語の母子手帳を発行した。	継続	母子健康手帳交付時に専門職(保健師、助産師)が面接することで、妊婦の置かれた状況を把握し、支援が必要な妊婦に対し、早期から関わりをもてるようにする。また、経済的支援として、出産準備ギフトの申請の受付をする。	冊	496	491	412	健康推進課	
2	ママパパ教室	妊婦とその家族を対象に、絵本の紹介やおもちゃの紹介・作成、先輩ママとの交流、沐浴実習、パパの妊婦体験、妊娠中の食事の話をします。開催日時等を工夫し、父親を含めた参加が促進されるよう取り組みます。	コロナの感染拡大により、先輩ママとの交流会はほとんどできなかったが、助産師や保健師等から、妊娠前から知っておきたいことなどを伝えることはできた。沐浴実習や妊婦体験などは、感染予防しながら実施し、参加者からも好評だった。	継続	感染症の流行状況をみながら、必要な感染予防対策をした上で、できるだけママ同士や、先輩ママとの交流ができるよう調整する。	開催回数	回	6	8	8	健康推進課
						母親の参加人数(延べ)	人	30	40	47	
						父親等の参加人数(延べ)	人	14	31	37	
3	すくすくママ訪問	保健師等が、妊娠中期の妊婦の家庭を訪問し、妊娠・出産の不安や悩みの相談に応じます。また、子育て情報を提供します。	コロナ感染が継続する中、スタッフの体調管理に注意し、消毒を徹底すると感染予防を図りながら訪問を実施した。外出しづらい妊婦にとって訪問することで不安の解消を図った。	継続	感染症の流行状況をみながら、必要な感染予防対策をした上で、外出しづらい妊婦に対して訪問を行うことで不安の解消を図る。訪問の受け入れが難しい妊婦に対しては、面談や電話で相談対応をする。	件	389	392	331	健康推進課	
4	妊婦訪問指導	医療機関と連携し、早期から支援の必要な妊婦の把握に努めます。また、すくすくママ訪問と連携し、妊婦が不安なく出産、育児ができるよう、保健師等が訪問し、妊娠・出産、育児に関する必要な保健指導や相談を行うなど切れ目のない支援を提供します。	妊婦届出等の情報から、支援の必要な妊婦を早期に把握した。また、すくすくママ訪問と連携しながら、切れ目ない支援を行った。	継続	すくすくママ訪問と連携しながら、様々なことに不安を抱える妊婦に対し、寄り添い、安心して出産・育児ができるよう支援していく。	人	15	16	8	健康推進課	
5	妊婦健診	妊婦の健康管理を図り、疾病の早期把握及び健康状態の把握のための健康診査を行います。健診受診の大切さを啓発し、健診結果を踏まえて継続的な支援につなげます。	妊婦届出の際に、妊婦健診受診券を発行し、健診を受ける事の大切さを伝えるとともに、健診結果を把握し、継続的な支援につなげた。	継続	妊婦届出の際に、妊婦健診等の受診券を発行する。外国籍の妊婦や多問題を抱える妊婦等、様々な状況の妊婦が増えている中、健診を受ける事の大切さを伝えるとともに、医療機関と連携し、継続的な支援につなげていく。	人	5,909	5,999	5,463	健康推進課	
6	すくすくベビー訪問	保健師等が、生後3週間～2か月ごろの赤ちゃんのいる家庭を訪問し、計測を通して育児相談に応じます。また、子育て情報を提供します。	コロナ感染が継続する中、スタッフの体調管理に注意し、消毒を徹底して感染予防を図りながら訪問を実施した。度重なる感染の波に、外出する機会の減った産婦と赤ちゃんにとって訪問することで不安の解消を図った。	継続	必要な感染予防対策を徹底した上で訪問を実施し、外出しづらい産婦と赤ちゃんに対して訪問を行う。妊娠前から継続したサポートを行うことで母の不安の解消を図っていく。また、経済的支援として、子育て応援ギフトの申請受付をする。	件	389	405	451	健康推進課	
7	乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん事業)	生後4か月までの乳児のいる家庭を民生委員・児童委員、主任児童委員が訪問し、育児不安の解消や孤立化の防止を図り、必要な支援を行います。	コロナ感染が継続する中、訪問者には感染予防を徹底してもらい、地域とのつながりをつくる機会とし、孤立化の予防に努めた。また、支援の必要な方は、養育支援訪問につなげ継続した支援を行った。	継続	必要な感染予防対策を徹底した上で訪問を実施し、地域とのつながりをつくる機会として訪問を実施する。感染症等が心配で訪問を拒否する家庭においては、医療機関やすくすく訪問ルームと連携し、情報共有を行っている。	件	441	413	419	健康推進課	
8	産婦・新生児訪問指導	保健師等が、産婦・新生児のいる家庭を対象に、すくすくベビー訪問と連携しながら、必要な育児手帳、疾病の予防、日常生活や育児に関する訪問指導を行います。早期の訪問により、育児困難家庭等を把握し、必要に応じて養育支援訪問につなげるなど継続した支援を行います。	コロナ感染が継続する中、消毒を徹底する等感染予防を図りながら訪問を実施した。コロナ禍で、外出する機会の減った産婦と赤ちゃんにとって訪問することで不安の解消を図った。また、必要時、すくすく訪問ルームにつなぎ、切れ目のない支援を実施した。	継続	必要な感染予防対策を徹底した上で訪問を実施し、外出が難しい産婦と赤ちゃんに対して訪問を行い、不安を感じている母に寄り添っていく。	人	63	47	36	健康推進課	
9	赤ちゃん相談	乳児の保護者に対して、育児・栄養・母乳相談、歯科相談などを行うことで、育児不安の解消に努めます。	発育・発達の確認や育児・母乳・栄養等に関する相談の場として、参加者の不安の軽減につなげた。感染対策として、完全予約制にし、手指消毒の徹底や各自ベタオトルを徹底してもらいなど工夫しながら実施した。予約状況により当日従事者の数を増やすなど、滞在時間を短くし、会場が密にならないよう注意した。	継続	必要な感染症対策をしつつ、保護者の育児不安等に寄り添い、安心して子育てできるよう支援していく。	実施回数	回	12	12	12	健康推進課
						参加延べ人数	人	626	638	756	
10	特定不妊治療助成	子どもを望み特定不妊治療を行っている方に対し、保険外診療に要した治療費のうち、府の助成金を控除した自己負担額の一部について助成し、経済的負担の軽減を図り、次世代の育成を支援します。	不妊治療の保険適用により、府の助成対象となる者が限られていたため、対象者が前年度より大幅に少なくなった。	廃止	令和5年度、府の助成対象となる者がいなくなるため、市の補助対象もなくなる。	人	50	63	22	健康推進課	
11	妊婦歯科健康診査	妊婦に対し、歯周組織の健康状態の検査及び検査結果に基づいた保健指導を行い、妊娠中に悪くなりやすい歯周病やむし歯の早期発見と予防につなげます。	妊婦届時に妊婦歯科健診受診券を発行。妊娠中における歯科予防の大切さについて説明し、妊婦全戸訪問(すくすくママ訪問)で受診勧奨し、健診受診数を増やすことに努めた。	継続	引き続き、妊婦の歯科予防に対する啓発を行い、受診率向上に努めていく。	人	63	86	77	健康推進課	



【4】小児保健医療体制の充実

No.	事業名	事業内容	令和4年度の取組と評価	令和5年度以降の方向性や課題		単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
20	小児救急医療体制の確保	土曜日・日曜日・祝日・年末年始においても適切な医療が受けられるよう、小児救急医療体制の確保に努めます。	土曜日・日曜日・祝日・年末年始の小児救急医療体制の充実に取り組みます。	継続	受診機会を確保し、適切な処置を受けることができるように努める。	人	416	607	1,056	健康推進課
21	子ども医療の助成	中学校修了前までの児童のいる家庭が、必要な医療を受けられるよう医療費の一部を助成します。	生活保護法による被保護者のうち、保護を停止されている者について、令和5年度から医療費の助成を行うため、条例改正を行った。	継続	対象児童が必要な医療を受けられるよう、制度の周知に努める。	件	96,141	121,189	131,253	子ども福祉課

【5】思春期における健康づくりの推進

No.	事業名	事業内容	令和4年度の取組と評価	令和5年度以降の方向性や課題		単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課		
22	薬物乱用防止	学校相談員(警察OB)や、薬物に関する関係機関と連携し、児童生徒への正しい知識の普及に努めます。	中学校において、専門的な知識を生かした薬物乱用防止教室を実施するため、学校相談員を派遣した。	継続	今後も、中学校において薬物乱用防止教室を実施する。	校	5	5	5	学校教育課		
23	性教育	病院や保健センター等と連携し、こころからたの健康を啓発し、児童生徒の健全な育成に努めます。	性教育について、養護教諭や保健担当者がスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、デートDVや性暴力から身を守るための授業を行った。	継続	今後も、児童生徒が性と正しく向き合えることができるよう専門家と連携した指導を継続する。	人	12	12	13	学校教育課		
24	教育相談員配置	小・中学校において専門的な見地から相談活動を行うスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の相談員を配置し、保護者、児童生徒の相談への対応を通じて、暴力行為や不登校の減少、いじめの早期発見と解消に努めます。	小・中学校において専門的な見地から相談活動が行えるよう、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の相談員を配置した。	継続	いじめ、不登校、暴力行為、虐待の早期解決や重篤化の防止に努める。	スクールカウンセラー	配置人数 小学校	人	4	5	5	学校教育課
						配置人数 中学校	人	5	5	6		
						スクールソーシャルワーカー	配置人数 小学校	人	3	4	4	
						配置人数 中学校	人	3	3	4		
						心理カウンセラー	配置人数 小学校	人	1	1	1	
						配置人数 中学校	人	0	0	0		
学校相談員	配置人数 小学校	人	1	1	1							
配置人数 中学校	人	1	1	1								
25	青少年育成関係機関・団体との連携	青少年指導員の資質向上と青少年を犯罪や非行から守るため、関係機関・団体等との連携を図ります。	役員会議はほぼ月に1回開催。大阪府・泉南ブロック青少年指導員連絡協議会が主催する研修会に参加し、資質向上に努めた。	継続	府や各市町の担当部局と、様々な機会を捉えて交流し、団体などへ提供できる情報の質と量の改善を目指す。	人	124	122	121	青少年教育課		

2. 人間性を輝かせる教育の充実

【1】就学前教育・保育の充実

No.	事業名	事業内容	令和4年度の取組と評価	令和5年度以降の方向性や課題		単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課		
26	3～5歳児の就学前教育・保育の充実	保育所や幼稚園・認定こども園など多様な保育ニーズに対応した受皿の整備を行うとともに、教育・保育従事者向け研修等を実施し、教育・保育の質の確保に努めます。	幼小中を見通した子どもの「非認知能力」の育成について、保護者への理解啓発を図り、家庭と連携しながら取組みを推進した。架け橋プログラムの推進に向けて、福祉部局との連携を図った。	継続	「非認知能力」の育成について、幼稚園とこども園との連携強化を図る。架け橋プログラムについて、モデル地域を選定し、カリキュラムの作成に向けた協議を開始する。					学校教育課		
			民間の特定教育・保育施設の運営が適切に行われるよう支援を行った。公立認定こども園の保育教諭の資質向上のため、外部講師による研修を実施した。	民間の特定教育・保育施設において、適切な保育の実施ができるよう支援を行う。架け橋プログラムの趣旨の即したカリキュラムや教育方法の充実・改善を図る。教育・保育の充実を図り、資質向上に必要かつ効果的な研修を実施していく。架け橋プログラムの趣旨の即したカリキュラムや教育方法の充実・改善を図る。	継続	研修実施回数	回	0	0	5	子育て支援課	
27	公立幼稚園での預かり保育事業	保護者の利用ニーズを踏まえ、事業の充実を努めます。	長期休業中の預かり保育を実施した。	継続	保護者の利用ニーズを踏まえ、預かり保育を継続する。	公立幼稚園	実施幼稚園数	園	5	5	5	学校教育課
						利用延べ児童数	人	3,171	4,684	4,576		

【2】生きる力を育む学校教育の充実

(1) 確かな学力の向上

№	事業名	事業内容	令和4年度の実績と評価	令和5年度以降の方向性や課題		単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課		
28	英語指導助手配置	全小・中学校に配置した英語指導助手により、小学校外国語科や外国語活動、中学校英語科の授業において、聞く・話す等のコミュニケーション能力を高めるとともに、担任や外国語指導担当者と英語指導助手との連携を深め、語学授業の改善を図っていきます。	児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図るため、令和4年度は6名の英語指導助手を配置した。「目的」「場面」「状況」に応じた会話に重点をおいた授業改善を進めることができた。	継続	令和5年度は、これまで中学校で行ってきた英語の授業と小学校での外国語の授業の中小連携を強化するため、英語指導助手との連携をさらに深める。	小学校	配置校数	校	6	11	11	学校教育課
						配置人数	人		6	6		
						中学校	配置校数	校	5	5	5	
						配置人数	人		5	5		
29	研究学校支援事業	新学習指導要領に則った授業づくり、学習評価を指導に生かした授業づくりを推進するための実践的研究を進め、全校で研究成果を共有し実践できるよう支援します。	SE推進事業をとおして、事業実施校のみが研究を進めるのではなく、実施校が旗艦校となり、市内へ研究成果を普及することができた。	継続	令和の日本型学校教育でめざすべき、個別最適な学びと協働的な学びの一体化の推進をめざした教職員の授業づくりを推進する。					学校教育課		
30	まなび舎事業	子どもたちの学力向上を目指して放課後の自主学習を推進します。また、事業を担う放課後学習支援アドバイザーの確保に努めます。	市内中学校において、生徒の学力向上を目的に、放課後学習支援アドバイザーの協力を得ながら自主学習を推進した。アドバイザーについては、地域人材とともに教育実習を経験した各校の卒業生も配置しており、より子どもたちのニーズに合うよう配慮した。	継続	各校において学習面に課題のある生徒に的を絞って参加者を募っており、まなび舎に対するニーズは高い。アドバイザーについては、地域の方々からの協力で成り立っている。教育実習を経験した各校の卒業生等に依頼し、より子どもたちのニーズに合うよう改善を図る。	実施校数	校	5	5	5	学校教育課	
						実施回数	回	92	83	128		
						参加生徒数(延べ)	人	812	555	809		

(2) 豊かな心の育成

№	事業名	事業内容	令和4年度の実績と評価	令和5年度以降の方向性や課題		単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課		
31	人権教育推進事業	市内小・中学校、高校の人権学習の受け入れ、及び出前講師の派遣に積極的に応え、人権教育の啓発を進めます。また、各学校に対し、人権教育に係る情報提供とともに、研究授業や研修会において指導助言を行います。	様々な機会を通じて、青少年の人権意識を高め、同和問題の理解を深めた。	継続	今後も人権学習の受け入れや講師派遣に応え、豊かな人権意識を培う。	講師派遣回数・小学校(4年度実績：人権学習の受け入れ回数)	回	2	2	11	青少年人権教育交流館	
						講師派遣回数・中学校・高校・教員研修(4年度実績：講師派遣回数)	回	6	7	21		
			市内小・中学校の人権教育の状況について、アンケート及びヒアリングにて把握するとともに、校内の人権教育に係る研究授業や研修会において指導助言を行った。	継続	市内小・中学校の人権教育の状況についてアンケートやヒアリングを通じて把握するとともに、人権教育に係る情報提供を行っていく。また、研究授業や研修会において指導助言を行う。					学校教育課		
32	特別支援教育の推進	教育支援委員会や就学相談等により、適切な就学を支援していきます。また、特別支援教育、障害者理解教育が推進されるよう、全教職員を対象に研修を行います。	教育支援委員会を年6回開催し、就学や進学についての検討を行い、支援を行った。また、全教職員および介助員を対象とした特別支援教育についての研修を行った。	継続	就学・進学先のコーディネーターに校園所での参観や保護者との面談に参加してもらい、積極的に就学・進学相談に関わってもらい体制を整えていく。それをもとに教育支援委員会で就学・進学についての検討を行い、支援を行っていく。また、特別支援教育についての研修を実施し、担当者のスキルアップを図る。	小学校	学校数	校	11	11	11	学校教育課
							学級数	学級	148	144	141	
							支援学級数	学級	50	51	55	
							児童数	人	4,677	4,495	4,378	
							(うち)支援学級児童数	人	306	315	343	
							教職員数	人	277	275	334	
							教職員一人当たり児童数	人	16.9	16.3	13.1	
						中学校	学校数	校	5	5	5	
							学級数	学級	66	65	61	
							支援学級数	学級	21	26	28	
							生徒数	人	2,465	2,434	2,321	
							(うち)支援学級生徒数	人	133	167	174	
							教職員数	人	169	174	203	
							教職員一人当たり生徒数	人	14.6	14.0	11.4	

33	児童生徒健全育成	児童生徒一人ひとりの人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるよう学校が一体となった生徒指導・支援体制を整備・充実します。	児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、学校が一体となって生徒指導・支援体制を充実することを目的とした研修・会議を行った。	継続	各学校における生徒指導・支援体制について共有し、充実を図る。 ・小中学校生活指導連絡協議会 研修会 2回 ・小中学校生活指導連絡協議会 8回										学校教育課
34	教育相談	教育相談室で協みの電話相談や不登校カウンセリングを行うなど、教育相談を充実します。	教育相談室での臨み相談・不登校カウンセリングを行ったことに加え、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、学校相談員を活用した教育相談の充実を図った。	継続	専門家と連携した相談活動を実施し、相談者の心情に寄り添った対応を行う。	教育相談	件	4,525	4,299	4,505	学校教育課				
						スクールカウンセラー	件	1,000	1,311	1,394					
						SSWケース会議	件	2,083	1,723	1,759					
35	教育支援センター事業	不登校生に学校の指導以外の場で指導援助する教育支援センターにおいて、個に応じた対応を図ることにより、集団生活への適応を促し、学校生活への復帰を支援します。	不登校児童生徒の学習支援及び教育相談の充実を図り、学校生活への復帰や自立をめざした支援を行った。また、個に応じて、ホースセラピーを取り入れた支援も行った	継続	集団生活への適応、学校生活へも復帰を目標とし、個に応じた対応を行う。また、教育相談室と連携し、保護者や児童生徒の悩みや不安を聞くなど、保護者支援、子ども支援を行う。	不登校児童・生徒数	人	210	216	289	学校教育課				
						(うち)小学校	人	59	81	114					
						(うち)中学校	人	151	193	175					
						教育支援センター入室児童・生徒数	人	18	12	13					
						学校復帰児童生徒数	人	21	3	21					
(うち)教育支援センター入室児童	人	4	3	4											
36	教育相談員配置 (No.24再掲)														学校教育課
37	子どものインターネット依存の防止対策	児童生徒に対して、授業等においてインターネットの付き合い方を指導するとともに、保護者に対して講演会等においてインターネット依存防止について啓発を行います。	携帯電話会社や専門家及び学校相談員を招き、各校でスマホ安全教室を実施した。	継続	携帯・ネットのいじめ等に関する実践事例集を作成し、小中学校へ配付する。	校	7	6	8	学校教育課					
38	小学校国際親善交流事業	毎年カルパシティ市エルマリノ小学校の児童を市内小学校が受け入れ、交流を進めます。	令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、エルマリノ小学校の児童の受け入れは中止となった。	継続	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため渡航は中止となったが、令和5年度は、オンラインによる交流について検討する。	人	0	0	0	学校教育課					

(3) 児童生徒の健康・体力の向上

№	事業名	事業内容	令和4年度の実績と評価	令和5年度以降の方向性や課題	単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
39	中学校クラブ活動助成	全中学校のクラブ活動の活性化に努めます。	クラブ活動の活性化をめざし、市内中学校の活動を支援した。	継続	地域移行にかかる国や府の動向を注視しながら、部活動指導員の増員など、クラブ活動の充実に向けた支援を継続する。				学校教育課

(4) 地域・保護者から信頼される学校づくり

№	事業名	事業内容	令和4年度の実績と評価	令和5年度以降の方向性や課題	単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課	
40	教職員研修事業	教育研究センターにおいて、学校現場での多様な課題に対応できるよう、教職員に対し様々な研修を企画・実施し、教職員の資質向上を推進します。	学校現場での課題は多様化しており、様々なニーズに合うように研修内容を吟味し実施した。	継続	今後も、教職員の多様なニーズに対応できるよう、資質向上のための研修を企画運営していく。	回	32	39	40	学校教育課
41	市PTA協議会育成事業	子どもたちの豊かな心を育み、健やかな成長のための教育環境醸成のため、公立幼稚園、小・中学校のPTA代表者と学校園長代表で構成する協議会について、将来にわたって活動が持続できるように育成・支援を行います。	・市PTA研究大会をはじめ、府PTAの研修会に参加するなど資質向上のため学習機会の場を設けた。 ・役員会および協議会を開催した。 ・コロナ禍であることや、協議員の負担軽減のため、オンラインでの参加や書面会議を取り入れた。	継続	PTA活動を負担に思われたが多く、役員の手探しが困難になっている。役員負担軽減を図るため市PTA協議会の会議や事業内容の見直しを図っていく。					社会教育課

【3】社会性を育む多様な体験活動と遊び環境の充実

(1) 地域での居場所づくり

№	事業名	事業内容	令和4年度の取組と評価	令和5年度以降の方向性や課題		単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課		
42	地域の公園や広場の活用促進	地域に整備されている公園や広場が、地域の子どもたちが気軽に遊べ、自然との親しみや地域住民とのふれあいがもてるような遊び場、憩いの場として活用されるよう促すとともに、子どもが安全にのびのびと遊べる環境づくりに努めます。	遊具等の更新や施設の整備を行い、誰もが安全で快適な公園として使用できるよう努めた。	継続	遊具の更新や施設の整備を引き続き推進するとともに、多様化する市民ニーズに応えるため、官民連携等を活用し、子どもが安全安心に遊べる環境づくりを目指す。	各年度未現在	広域公園	個所数	1	1	1	公園緑地課
							面積(ha)	41.1	41.1	41.1		
							街区公園	個所数	18	18	18	
								面積(ha)	3.94	3.94	3.94	
							児童遊園	個所数	145	145	148	
								面積(ha)	5.13	5.13	5.3	
							近隣公園	個所数	4	4	4	
								面積(ha)	5.7	5.7	5.7	
							地区公園	個所数	1	1	1	
								面積(ha)	5.4	5.4	5.4	
その他	個所数	11	11	11								
	面積(ha)	14.0	14.0	14.0								
43	レッツTRY	中高生を中心に、青少年世代の様々な表現活動や、グループ活動を支援するために施設の開放や活動の相談を行います。	公民館講師や職員などが声掛けを行い、学校にグループ活動の場がなかったり、希望のクラブ活動がない子どもたちの登録もあった。	継続	青少年と公民館のつながりを作り世代間交流や視野を広げる機会にもなれるよう、根気よく声掛けを行い参加者を広げていきたい。	登録団体数	団体	5	9	12	各公民館	
44	プレーパーク支援事業	貝塚子育てネットワークの会による、子どもたちの冒険遊びの場づくりを支援します。	共働き世帯が増える中、運営の担い手不足等の課題があり、その解決方法について研修会で話した。若手メンバーも加わり次期体制づくりを進めた。	継続	活動も実行委員も楽しく支え合える仲間づくりを目指して継続して支援する。	実施回数	回	3	3	4	中央公民館	
						参加者数(延べ)	人	1,450	1,520	1,443		
45	放課後子ども教室	地域・学校・留守家庭児童会と連携を図り、放課後や週末の子どもの安全・安心な居場所づくりの充実に努めます。また、事業を担う地域のボランティアの確保に努めます。	・公民館などの社会教育施設や地域の施設において、ものづくり、茶道やいけばななどの文化活動を含めたあそびを主体とする教室と、各小学校において子どもの学習支援を行う「まなび舎kids」の教室を実施した。 ・年2回チランを各小学校・地域・社会教育施設等に配付し、制度の周知や募集を行った。	継続	・今後も制度の活用や地域への周知を継続し、子どもの安全・安心な居場所づくりを確保していく。 ・ボランティアの高齢化がすすんでいるため、運営を担う新たな人材の確保に努めていく。	実施箇所数	箇所	16	18	18	社会教育課	
						参加児童数(延べ)	人	9,959	8,875	8,586		
						指導員数	人	2,503	2,032	2,435		
46	家庭文庫	図書館以外で身近に本とふれあう場所としての文庫活動の活性化に努めます。	新型コロナウイルスの影響で活動が難しく、開室できない家庭文庫もあった。	継続	地域での子どもたちの読書活動の場として、感染対策を行いながら活動を継続していきけるよう支援していく。						図書館	

(2) 地域活動・体験活動の機会の提供

№	事業名	事業内容	令和4年度の取組と評価	令和5年度以降の方向性や課題		単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課	
47	低学年育成事業	小学校低学年を対象に集団遊びやスポーツ、工作等さまざまな活動を実施します。	様々な活動を通じて、コミュニケーション力や協調性を持つ子どもを育成することに努めた。	継続	今後も子どもたちの感性や自己肯定感を高めるために、様々な集団活動や体験活動を行う。	実施回数	回	187	194	231	青少年人権教育交流館
						参加延べ人数	人	7,650	6,572	8,292	
48	高学年向け活動	小学校高学年向けの自主活動やボランティア活動を支援します。	様々な活動、体験を通じて小学校高学年が安心して過ごせる場所の提供に努めた。	継続	今後も青少年が安心して過ごせるような施設を目指す。また、高学年や中学生の自主活動を支援していく。	実施回数	回	19	10	25	青少年人権教育交流館
						参加延べ人数	人	208	52	254	
49	土曜日等事業	交流・創作・親子のふれあいや人権・文化・スポーツ等、多様なテーマを取り上げ、土曜日を活用した参加型、体験型活動を実施します。	3年ぶりに子どもまつりを開催した。その他の活動においては、定員を減らす等の対応をしながら子どもたちに様々な経験を提供することに努めた。	継続	今後も土曜日を活用した参加・体験型の事業を行う。また、定員について、コロナ前に戻していく。	実施回数	回	3	3	3	環境衛生課
						参加延べ人数	人	100	95	907	
50	子ども環境美化活動	カン・ペットボトル等のボイ捨てゴミを、仲間とともに回収することにより、町をきれいにしする心を育み、海洋プラスチックゴミ問題等への環境美化意識を高めてもらうことを目的として実施します。	依頼のあった市内の子ども会に、清掃で使用する道具を配布し、町内の公園や道路で清掃活動を行うための支援を行った。新型コロナウイルスの流行が落ち着いてきたこともあり、参加人数が例年並みに戻った。	継続	子どもたちの美化意識の向上のために、今後も継続して事業を行う。	子ども環境美化活動運動実施回数	回	2	8	10	環境衛生課
						子ども環境美化活動運動参加人数	人	26	118	242	

51	環境教育の推進	「総合的な学習の時間」をはじめ、学校での各教科等での取組みを通して、身近な環境に対する理解と認識を深め、環境を大切にすることを育てます。また、家庭や地域との関わりの中で、よりよい環境の創造に向けて、自然愛護や環境保全に積極的に関わろうとする実践の態度の育成に努めます。	学校からの見学の際や出前授業の折には、人を含む生物と環境について必ず説明を加えた。市民とともに「わくわくクラブ」の生態園作業や、毎月実施する川海山での自然観察会を中心とする行事は、生きものと環境についての考察をテーマの一つとして実施した。いずれも積極的な反応があった。	継続	学校や各種団体と連携を常に確認し、二色浜、近木川、せんごくの杜他での市内自然観察学習で内容の一層の充実を図る。	学校対象出前授業および地域より要請された出前授業、観察会等行事、自然生態園作業他参加者数	人				1128	自然遊学館				
			「総合的な学習の時間」に特産品である馬場なすの栽培から収穫、そして、次の播種りまでを地域の方々と体験することを通して、自然のリサイクルについて考えた。 また、社会科では、クリーンセンターや水みらいセンターの工夫について学び、SDGsに対する意識を高めることができた。	継続	自然遊学館と連携を図りながら、児童生徒が興味を持って取り組める工夫を行っていきともに、クリーンセンターや水みらいセンター等、地域の施設を効果的に活用していく。										学校教育課	
			要望のあった小学校において、「総合的な学習の時間」を使用して、地球温暖化問題および海ゴミ問題についての授業を行った。授業が一方的な内容にならないよう、質問形式にして、全員に興味を持ってもらい、環境問題が身近な存在であると感じてもらえるように努めた。	継続	内容については、より多くの子どもたちに興味を持ってもらえるよう見直しを行いながら、今後も継続して実施していく。	参加校	校		1		2		1	環境衛生課		
52	少年の主張大会	小・中学生が発表する思いを通して、より多くの大人たちに青少年健全育成への理解を深めます。	11月にコスモシアター中ホールにて、市内全小学校の代表の参加を得て本大会を開催した。これにより、本市子どもたちのコミュニケーション能力を伸ばし、市民の青少年健全育成の意識を高めた。	継続	小学校や関係団体等との連携を図り、児童の自己有用感を高める。	実施回数	回	1		1		1	青少年教育課			
53	昔あそび出前事業	遊び隊(昔あそび隊・折り紙隊)が学校などに出向き、昔あそびを通して子どもや地域の人と交流します。また遊び隊を担う後継者の育成を図ります。	ここの年活動が少なかつたが、今年度は地域へ出る回数も増えてきた。	継続	主力メンバーの高齢化もあるので、担い手を増やしていく。	出前回数	回	6		11		24	中央公民館			
54	生涯学習支援事業	子どもが主体的に活動できるよう各施設の特徴を生かした取組みを進めます。	幼児から参加できる親子子ども教室を開催し、親子のつながりづくりも含めて取り組んだ。申し込みも多く大変好評であった。	継続	科学の不思議について、幼児期の子どもから小学生まで親子で楽しめる企画を進めていく。	実施回数	回						6	善兵衛ランド		
			行事や自然観察会や生態園作業においては、参加者が主体的に活動できるように準備し、実施した。いつでも参加者からの質問に答えられる体制を取り好評であった。	継続	調査活動をもとに、情報を更新しながら多様な体験活動と遊び環境の充実を図っていく。	家族参加の自然観察会他行事参加者数	人						602	自然遊学館		
															各公民館	
			感染症対策を講じながら、おはなし会・映画会・お楽しみ会などを開催した。	継続	引き続き、子どもが本に親しんだり、主体的な読書活動につながるような企画・実施に努めていく。											図書館
			様々な活動を通じて、社会性・協調性を持つ青少年を育成することに努めた。また、参加・体験型の活動を通じて、子どもたちに様々な経験を提供することに努めた。	継続	今後も多様な体験活動と遊び環境の充実を図る。											青少年人権教育交流館
													青少年教育課			

## (3) スポーツ・レクリエーション活動の機会の提供

No.	事業名	事業内容	令和4年度の取組と評価	令和5年度以降の方向性や課題	単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課		
55	子ども対象スポーツ教室事業	幼児に必要な運動機能の発育を促したり、小学生にスポーツの楽しさを体験してもらうなどを目的とした教室を開催します。	親と子がスキップを図りながら運動する親子体操教室や、子どもの年齢に応じてマット・ボール運動などのスポーツ・レクリエーションを行う幼児体操教室など、コロナ禍の中、感染拡大防止に細心の注意を払い実施した。	継続	引き続き、幼児に必要な運動機能の発育を促したり、小学生対象の教室では、スポーツの楽しさを体験してもらう。	開催教室数	教室	9	13	13	スポーツ振興課
						参加人数(延べ)	人	1,398	1,748	2,205	
56	スポーツ少年団活動の充実	地域社会の中で、スポーツによる交流や文化・学習活動、社会活動を通じて青少年の健全育成を行うスポーツ少年団の活動を支援します。	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、結団式及び体力テストは中止した。各単位団活動については、感染拡大防止に細心の注意を払い実施した。	継続	主となるスポーツ活動だけでなく文化・学習活動や社会活動など幅広い活動の展開をサポートしていく。	少年団数	団体	22	22	21	スポーツ振興課
						団員数	人	402	388	418	
57	スポーツ交流事業	日本生命の野球部及び女子卓球部の指導者・選手と本市の小学生、園児とのスポーツ交流を実施します。	子ども卓球教室、野球教室については、感染拡大防止に細心の注意を払い実施した。クリケット体験会については、学校からの要望が無かったため実施しなかった。	継続	指導者や選手と本市の小学生、園児とのスポーツを通じた交流を図る。	野球教室	回	0	0	10	スポーツ振興課
						卓球教室	回	21	21	21	
						クリケット体験会	回	6	4	0	
						野球教室参加人数(延べ)	人	0	0	750	
						卓球教室参加人数	人	31	34	36	
クリケット体験会等参加人数(延べ)	人	705	77	0							

## (4) 子どもの健全育成に向けた環境づくり

No.	事業名	事業内容	令和4年度の実績と評価		令和5年度以降の方向性や課題		単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課	
58	青少年団体の育成及び青少年育成者組織活動の振興	青少年健全育成に取り組む各種団体・指導者の育成を図ります。また、各種団体と連携した様々な体験・交流活動を通じ、子どもの健全育成を図ります。	ボーイスカウトや青少年団体等と一緒に、生物自然観察会や地虫綱を実施するとともに美化活動を行った。団体指導者と子どもたちが一体となり熱心に活動し、子どもの健全育成・指導者の育成につながった。	継続	子どもたちの実態に即した内容の検討を怠らず、体験・交流活動を実施していく。	青少年各種団体より依頼を受けた観察会等参加者数	人			243	自然遊学館	
			貝塚市青少年指導員連絡協議会を開催し、各種団体に青少年問題の啓発を行った。	継続	機会を逃さず、関係団体への働きかけを継続していく。							青少年教育課
			クラブ協議会や公民館利用団体の協力を得て、夏の子ども講座を開催。子育てネットワークの会や遊び隊などの活動を支援し、子育て環境の充実を図った。	継続	既存の子育て支援に係る団体を引き続き支援するとともに、他の公民館利用団体にも子育てに係る活動をさらに積極的に深めてもらえるよう働きかける。							

## 【4】次代を担う親の育成

No.	事業名	事業内容	令和4年度の実績と評価		令和5年度以降の方向性や課題		単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
59	中学生の保育体験	中学2年生の職業体験学習の一環として実施する。幼稚園、認定こども園等での保育体験などを通して、中学生と乳幼児とのふれあいの機会を図ります。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため保育体験学習をひかえる中、第四中学校が職業体験学習を再開し、橋本保育所・南幼稚園・南こども園にて保育体験実習を行った。	継続	新型コロナウイルスの5類移行に伴い、各学校で職業体験を再開していく。	実施日数(5校)	日	0	0	1	学校教育課
60	キャリア教育推進事業	児童生徒一人ひとりの勤労観、職業観を育てるとともに、生きる力を身につけさせ、自立できる子どもたちを育てる教育を推進します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の中、五中が企業の方をゲストティーチャーとして招き、聞き取り学習を行った。	継続	新型コロナウイルスの5類移行に伴い、各学校で職業体験を実施していく。また、三中和五中は大阪府が実施する「わくわく・どきどきSDGsジュニアプロジェクト」を活用してキャリア教育を推進する。	実施校数	校	0	0	2	学校教育課
61	体験学習	中学生に確かな勤労観を身につけさせるために、職業体験学習を実施します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の中、第一中学校が職業体験の代わりに地域の企業の方に職業講話に来てもらった。	継続	新型コロナウイルスの5類移行に伴い、各学校で職業体験を再開していく。						学校教育課